



アクロス株式会社 様

導入機種 → PJP-25UR / 2台

導入時期 → 2007年12月

基本構成 → 名古屋本社と東京事業所にPJP-25URを導入、
Lotus Sametimeと連携させスムーズな遠隔会議を実現

会社概要

設立	2003年6月
資本金	2200万円
事業内容	業務パッケージやソフトウェアの企業導入を中心としたITソリューションサービス事業
所在地	本社:愛知県名古屋千種区内山3-10-17 今池セントラルビル8F 東京事業所:東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ3F
参加団体	ノーコンソーシアム理事、中部ドミユーザー研究会事務局長、IBMユーザ研究会、ユーオスグループ(UOS)会員
URL	http://www.acro-x.com/

Lotus SametimeとPJP-25URを連携させた遠隔会議で 高度な情報共有によるスピード経営を実現しています。

PJP導入の背景

簡易型マイクスピーカの
音質の悪さが大きな課題に。

- 拠点間の迅速な会議が必要
- Lotus SametimeでWeb会議構築
- 音質の諸課題を解決したPJP-25UR

アクロス様は、IBMのミドルウェア (Lotus NotesやLotus Sametimeなど) に特化した技術とサービスを特長とする、今注目のベンチャー企業です。2003年に名古屋を本社として会社を設立、2006年3月には東京事業所を開設し、急成長を続けています。名古屋・東京間の会議は当初、資料のメール送信と電話で行われていました。しかし電話料金がかさむことに加え、スピード経営を実現するために複数人数による資料共有や会議の必要性が高まったため、Lotus Sametimeのeミーティング機能によるWeb会議を導入しました。その際音質は簡易型マイクスピーカを使っていましたが、マイクに口を近づける煩雑さや音切れ・エコーによるストレスなど、音質の悪さによる問題が噴出。こうした課題を解決するために、2007年12月にPJP-25URが導入されました。

PJPを選択した理由

PJP-25URにより遠隔会議に
必要不可欠な高音質が実現。

- 音切れやエコーのない快適さ
- 誰でも使える簡単なUSB接続
- skype排除で内部統制にも貢献

同社が遠隔会議システムとしてLotus SametimeとPJP-25URを選択した理由。それはまず、Lotus Sametimeでリアルタイムの画面・資料共有が出来ること。そしてPJP-25URでスムーズな双方向の同時会話が可能となったこと。この2つの組み合わせにより、高音質な遠隔会議が実現しました。ベンチャー企業である同社にとって、複数人数が迅速に資料と情報を共有し、双方向会話により認識を共通化させることは、極めて重要な経営課題でした。またセキュリティリスクを伴うSkypeやインスタントメッセージを排除してセキュアな環境下で遠隔会議が実現できることや、導入コストの安さ、難しい設定が不要なUSB接続だけで簡単に使える操作性の良さなども決め手となりました。まさに同社のニーズに合致した、最適な音声会議ソリューションが実現したのです。

PJP導入の成果

業務の効率化に貢献するとともに
新しいワークスタイルも実現。

- 情報共有による業務効率化
- 全社員による共通意識の形成
- 社内コミュニケーションの根幹に

同社は現在、隔週月曜日の午前中に全社員参加によるWeb会議を実施しています。名古屋本社の約20名と東京事業所の約10名が出席し、営業・技術・各種プロジェクトなど様々なテーマの報告や議論が行われています。その他、数人ずつのミーティングでも頻繁に活用されており、Lotus SametimeとPJP-25URによる遠隔会議システムは同社のコミュニケーションの根幹を支えるようになりました。「会議が格段にしやすくなった」「スクリーンに映し出された資料を共有しながらの双方向会話は、まるで同じ部屋で会議をしているみたい」など、社員からも高く評価。こうした成果を踏まえて、同社は今後、Lotus SametimeとPJP-25URによる業務効率化と新しいワークスタイルの提案を進めていくとしています。

ご購入いただいた機種

PJP-25UR

希望小売価格:63,000円(本体価格 60,000円)
JANコード:F49 80693 23383 2

小型で軽量、可動式マイクアームで多彩な使い方に対応。
高音質で操作性抜群のWeb会議用マイクスピーカ!



